

当社では、名古屋市の中の二つの顔である『名駅』と『栄』が、どのように変貌を遂げていくかを定点でその実態を追跡して行くことを進めております。3年目となる今回も4000のサンプル数を確保し代表性のある定点調査を実施しました。

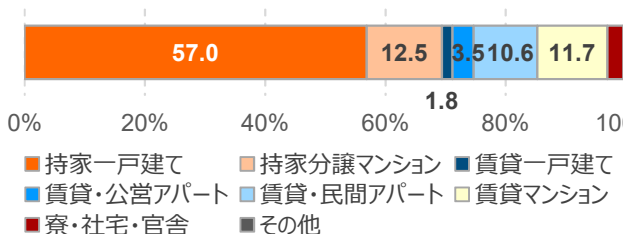
名古屋商圏（※調査概要参照）ライフスタイル項目を抽出

車社会が色濃い名古屋商圏。

『名駅』への移動もJR、地下鉄に次ぐ移動手段に。

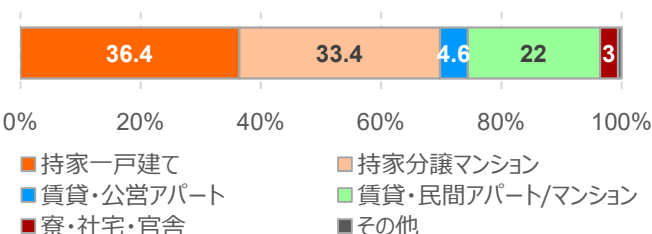
名古屋商圏の居住タイプや車の所有、移動手段など生活者のライフスタイルを調査しました。その結果、名古屋商圏に住む人々の車との関わり方や『名駅』への移動手段の特徴などが見えてきました。

● 現在あなたがお住まいの居住タイプについて教えてください。（1つだけ） 東海3県 N=4000

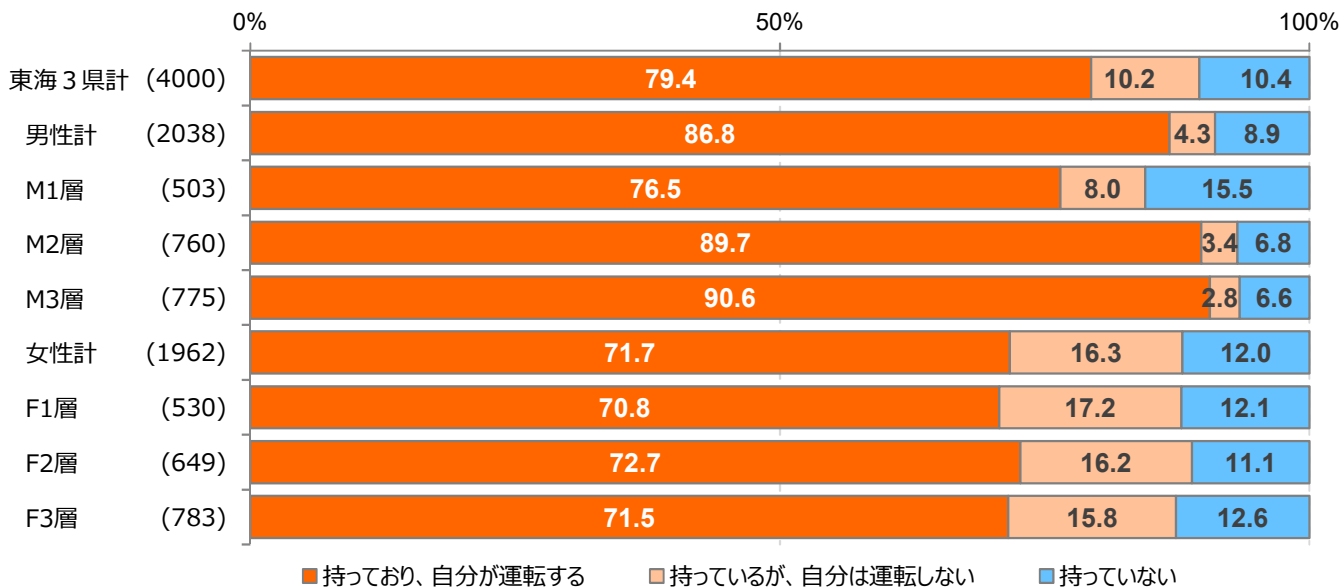


■ 【参考】東京都の住まいタイプ

出典：東京都庁「東京の住まい」アンケート平成27年度（N=473）



● あなたの世帯では自家用の車をお持ちですか。（1つだけ）



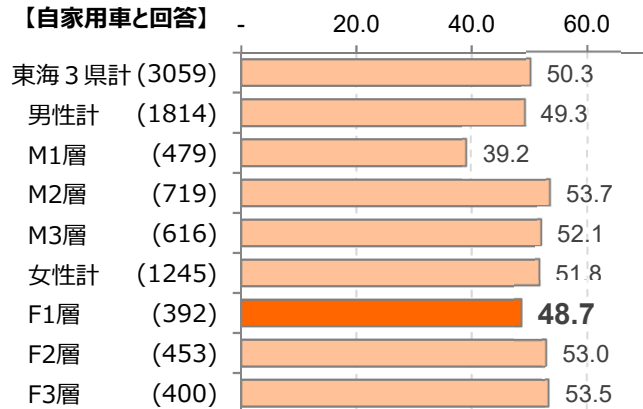
「自動車王国」はいまだ健在。女性の車利用も7割を超える。

名古屋商圏の居住タイプは、57.0%が「持家一戸建て」であることがわかりました。次いで、「持家分譲マンション」が12.5%、そのほか賃貸系の居住タイプは27.6%となりました。参考として、東京都庁の調査結果と比較すると名古屋商圏の「持家一戸建て」の割合が多いことがわかります。また世帯の車保有率では東海3県で89.6%、自分が運転する車だと79.4%となりました。女性を見ると自分が運転する車は71.7%保有していることがわかります。M1層やF1層といった若者に注目すると、車を持たないとされている世代であっても自分が運転する車を持っている人が70%を超えており車離れはしていないと言えます。

通勤では半数が車利用機会あり。 若者はF1層の車利用が多い。

通勤/通学の際の車使用率を見ると、東海3県で50.3%と半数の人が通勤/通学の中で一度は車を利用していることがわかります。また性別で比較をすると男性49.3%、女性51.8%と女性が上回る結果となりました。その要因としてはF1層の車利用の高さ（48.7%）が考えられます。M1層と比較しても10ポイント近くF1層が上回り、若い女性の車利用が名古屋商圏の特徴の一つと言えるのではないのでしょうか。

●通勤/通学で利用している交通手段はどれですか。（いくつでも）

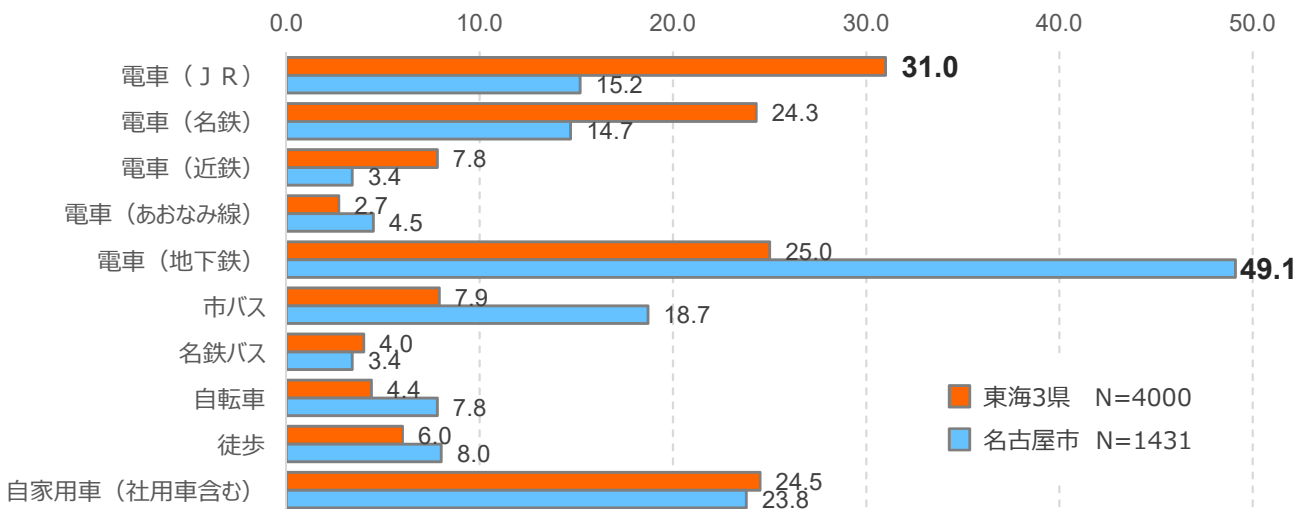


『名駅』への移動手段はJR、地下鉄がメイン。しかし車の利用も目立つ。

『名駅』へ訪れる際の移動手段を東海3県と名古屋市別で聴取したところ、東海3県では、「電車（JR）」が最も多く31.0%となりました。次いで「電車（地下鉄）」が25.0%、「自家用車（社用車含む）」が24.5%と続きます。名古屋市内では、「電車（地下鉄）」が最も多く、49.1%と突出して多いという結果となりました。また、次に多かった項目が「自家用車（社用車含む）」となり23.8%でした。以上の結果から『名駅』へ出かける際の移動手段は、JRや地下鉄の利用が多く見られたが、自家用車も『名駅』までの移動の中に含まれる場合が多いことがわかります。

●名駅エリアへ出かける際の移動手段は何ですか。

鉄道やバスを乗り継ぐ場合は、その利用される移動手段を全て選んでください。（いくつでも）



<調査概要>

名古屋商圏プロフィール調査

- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査地域：名古屋市周辺の東海三県（愛知県・岐阜県・三重県）主要都市居住者
- 調査対象：20～69歳男女 4,000サンプル
- 割付方法：実際の人口構成に近似したサンプル数配分（例：名古屋市1,531サンプル）
- 調査時期：2019年2月
- 調査機関：株式会社ジェイアール東海エージェンシー
オルフェウスコンサルティング株式会社

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー
企画マーケティング部 担当：糟谷・鈴木・大久保
TEL: 052-566-3312 e-mail: yuya-ookubo@jrta.co.jp